

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 現代の国語 ]

[ 2単位 ]

[ 使用教科書 : 新編 現代の国語 ]

[ 担当者 : 黒田優香 ]

学期	授業回数	項 目	教 科 書		レポート				
			内 容	ページ	副読本	ページ	前後	回目	課 題 内 容
前期	1	「コミュニケーションは技術だ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のコミュニケーションに対する考え方を読み取る。</li> <li>・コミュニケーションを上達させていくことに興味を持つ。</li> </ul>	16～19	8～9	前半	1	「コミュニケーションは技術だ」 「他人に声をかける」	5/9
	2	「他人に声をかける」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションのヒントをつかんで、周りの人たちと向き合う。</li> </ul>	130～131	76～77				
	3	「ことばの使い分け」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面に応じた言葉遣いを選ぶ。</li> <li>・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。</li> </ul>	24～27	10～13				
	4	「敬語によらない『丁寧さ』」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉についてさまざまな角度から考え、言葉を適切に活用する力を身につける。</li> </ul>	40	24				
	5	「ミニインタビューをしよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報を相手から引き出せるよう、質問しながら聞く。</li> <li>・話の展開に注意し、話を広げたり深めたりしながら聞く。</li> <li>・聞き取った情報を活用するためのメモをとる。</li> </ul>	72～75	48～49				
	6	「インタビューの醍醐味－アドリブ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手から話を聞きだすコツやインタビューの醍醐味について、インタビューの達人たちによる、実体験を踏まえた文章を読む。</li> </ul>	80～81	52				
	7	「宇宙人はいますか？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活の中でさまざまな人と出会い、ともに社会を築き上げていくためにも、さまざまな分野の本に親しみ、ものの見方や考え方を広げる。</li> </ul>	108～111	70～71	後半	4	「オカピの胃袋はいくつか」 「極北へ」	6/8
	8	「オカピの胃袋はいくつか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張とその根拠を意識しながら読む。</li> <li>・具体例の働きをとらえ、具体と抽象の関係を考えながら読む。</li> </ul>	86～88	56～57				
	9	「極北へ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活の中でさまざまな人と出会い、ともに社会を築き上げていくためにも、さまざまな分野の本に親しみ、ものの見方や考え方を広げる。</li> </ul>	100～104	66～67				
	10	「情報を吟味しながら読もう」 「情報の力関係」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視点や根拠に注意し、情報を吟味しながら読む。</li> <li>・図表などから必要な情報を読み取る。</li> <li>・図との関係に注意しながら、分掌を読み取る。</li> <li>・文字・図形・絵などが読者に与える効果の違いについて考える。</li> </ul>	154～155 156～159	94～95 96～97				
	11	「たった一つの『真実』なんてない」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアとどのように付き合い、情報を取捨選択すればよいか。メディア・リテラシーの大切さについて考える。</li> </ul>	176～177	104～105				
	12	「たった一人に伝わればいい」 「どう伝えるか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝える力を高めるための参考にする。</li> </ul>	200～201	110～113				

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 現代の国語 ]

[ 2単位 ]

[ 使用教科書 : 『新編現代の国語』大修館書店 ]

[ 担当者 : 豆田さくら ]

学期	授業回数	項 目	教 科 書		副読本	レポ ー ト					
			内 容	ページ	ページ	前後	回目	課 題 内 容	締切日		
後期	1	茂木健一郎 『「変わる」ことを楽しもう』	これからの学習について取り組みたいこと、興味のあることについて自分の考えを見つめる。	P12～ P15	P6～ P7	前半	11/7	1	茂木健一郎 『「変わる」ことを楽しもう』		
	2	『文を整え、文をつなぐ』	文章の組み立てについて、気を付けるべきことと、文の整え方、文のつなぎ方を学ぶ。	P32～ P35	P18～ P21				2	『文を整え、文をつなぐ』	
	3	山極寿一『人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか』	説明のしかたに着目しながら読む方法を身に付ける。	P46～ P47	P30～ P31					3	山極寿一 『人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか』
	4	今井むつみ 『オカピの胃袋はいくつか』	具体例の動きを捉え、具体と抽象の関係を考えながら読む。	P86～ P88	P56～ P57			後半			12/5
	5	『意見文の基礎を学ぼう』	意見文の基本的な書き方を学び、自分の意見を伝えられるようにする。	P136～ P139	P82～ P85				『意見文の基礎を学ぼう』		
	6	姜尚中 『何のために「働く」のか』	筆者の考えを読み取り、それをふまえて自分の考えを広げる。	P206～ P211	P116 ～ P119				姜尚中 『何のために「働く」のか』		
	7～	1～6回の授業の復習や理解を深める授業内容とする									

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 言語文化 ]

[ 2単位 ]

[ 使用教科書 : 『新編 言語文化』東京書籍 ]

[ 担当者 : 田所 弘基 ]

学期	授業回数	項 目	教 科 書		副読本	レポ ー ト			
			内 容	ページ		ページ	前後	回目	課 題 内 容
後期	1	芥川龍之介「羅生門」	登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。	72～85	28～32	前半	1	芥川龍之介「羅生門」	11/7
	2	【短歌】「柳あをめる」 【俳句】「雪の深さを」 【詩】高村光太郎「冬が来た」	詩歌独自の表現の特徴と効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る。	50～59	19～25		2	【短歌】「柳あをめる」ほか 【俳句】「雪の深さを」ほか 【詩】高村光太郎「冬が来た」	
	3	「古典学習のしるべ1、2」 兼好法師「亀山殿の御池に」(『徒然草』)	歴史的仮名遣い、品詞について理解する。随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。	124～ 125,138 ～139	56～ 58,128 ～129		3	「古典学習のしるべ1、2」 兼好法師「亀山殿の御池に」(『徒然草』)	
	4	「古典学習のしるべ3」 清少納言「うつくしきもの」(『枕草子』)	動詞の活用、係り結びについて理解する。作品の内容と自分を関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	134～ 136,146 ～147	66～68	後半	4	「古典学習のしるべ3」 清少納言「うつくしきもの」(『枕草子』)	12/5
	5	「訓読の基本」	漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解する。格言に親しむ。	210～ 218	96～99		5	「訓読の基本」	
	6	再読文字、故事成語 「借虎威」(『戦国策』) 李白「黄鶴楼送孟浩然之広陵」(『唐詩選』)	再読文字について理解する。故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解力を身に付ける。漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、表現に親しむ。	224～ 225,230	104～ 105, 108		6	再読文字、故事成語 「借虎威」(『戦国策』) 李白「黄鶴楼送孟浩然之広陵」(『唐詩選』)	
	7		1～6回の授業の復習や理解を深める授業内容とする。						

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[ 科目名：論理国語 a ] [ 2単位 ] [ 使用教科書：【教科書】新編 論理国語【副読本】学習ノート (大修館書店) ] [担当：辰巳 茉美]

学期	授業回数	項 目	教 科 書		副読本	レポ ー ト			
			内 容	ペ ー ジ		ペ ー ジ	前後	回目	課 題 内 容
前期	1	汐見稔幸 「知の登山、知の水路」	「学ぶこと」について筆者の考えを読み取り、なぜ学ぶのかということを考え視野を広げる。	P12 ~P17		前半	1	汐見稔幸 「知の登山、知の水路」	5/9
	2	上田恵介 「ウサギの耳はなぜ長い？」	漢字の読み、書き取り、語句の意味確認。本文の内容をまとめ、話の流れを理解する。筆者の意見を読み取る。	P32 ~P41				上田恵介 「ウサギの耳はなぜ長い？」	
	3	伊藤亜紗 「記号的メディアと物理的メディア」	具体、抽象の関係について理解を深め、文章の構成や展開から筆者の主張を読み取る。	P42 ~P48				伊藤亜紗 「記号的メディアと物理的メディア」	
	4	坂村健 「人工の自然—科学技術時代の今を生きるために」	「人工」と「自然」という本来は対照的な概念が、実際には互いに関係しあったものであることを理解し、科学テクノロジーに囲まれた生活を問い直す。	P82 ~P88				坂村健 「人工の自然—科学技術時代の今を生きるために」	
	5	長谷川權 「和の思想、間の文化」	日本の伝統的な年間行事について学習し、正しい知識を身につける。また、和の力、間の働きから伝えあう力、生きる力の育成に繋げる。	P176 ~P183				長谷川權 「和の思想、間の文化」	
	6	清岡卓行 「ミロのヴィーナス」	漢字の読み、書き取り、語句の意味確認。本文の内容をまとめ、話の流れを理解する。筆者の意見を読み取る。	P184 ~P191				清岡卓行 「ミロのヴィーナス」	
		<p>・その後の授業は、1～6回目の復習や内容を深める授業内容。</p>				後半	4	坂村健 「人工の自然—科学技術時代の今を生きるために」	6/8
						5	長谷川權 「和の思想、間の文化」		
						6	清岡卓行 「ミロのヴィーナス」		

# 2023年度 学習指導計画表

長尾谷高等学校

[ 科目名：論理国語 b ] [ 2単位 ] [ 使用教科書：【教科書】新編 論理国語【副読本】学習ノート (大修館書店) ] [ 担当者：辰巳 菜美 ]

学期	授業回数	項目	教科書		副読本	レポート				
			内容	ページ		ページ	前後	回目	課題内容	締切日
後期	1	平田オリザ 「対話の精神」	言葉は、言葉そのものを認識したり説明したりする働きがあることを理解する。	P58 ~P66		前半	1	平田オリザ 「対話の精神」	11/7	
	2	小川和也 「「考える葦」であり続ける」	筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確に捉える。また、文章の構成や論理の展開に注意しながら内容を把握する。	P89 ~P97				2		小川和也 「「考える葦」であり続ける」
	3	内田樹 「紙の本はなくならない」	異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開を捉える。	P130 ~P137						3
	4	鷺田清一 「補助線を引きながら考える」	筆者の問題意識を捉え、主張を読み取り、自分の思いや考えを深める。	P166 ~P171		4	鷺田清一 「補助線を引きながら考える」			
	5	長谷川真理子 「人類の進化から考える「心」の誕生」	複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。問題提起と答えの関係を的確に捉え、自分の考えを持つ。	P208 ~P215			5	長谷川真理子 「人類の進化から考える「心」の誕生」		
	6	河合雅司 「未来の地図帳」	日本社会や世界が抱える課題に関心を持ち、考えを広げたり深めたりする。数値、地図を的確に読み取り、筆者の主張を掴む。	P284 ~291				6		河合雅司 「未来の地図帳」
<p>・その後の授業は、1～6回目の復習や内容を深める授業内容。</p>						後半			5	
							6			

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 文学国語 a ]

[ 2 単 位 ]

[ 使用教科書 : 『新編 文学国語』 ]

[ 担当者 : 花田 夏生 ]

学 期	授 業 回 数	項 目	教 科 書			レポ ー ト					
			内 容	ペ ー ジ	副 読 本 ペ ー ジ	前 後	回 目	課 題 内 容	締 切 日		
前 期	1	『文学的な文章とは?』	どのような文章の種類があるかを知り、それぞれがどのような特徴を持つかを理解する。	P10		前 半	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を理解。</li> <li>漢字や語句の理解。</li> <li>筆者の考えを読み取る。</li> </ul>	5/9		
	2	随想『少なくとも最後まで歩かなかった』	筆者が大切だと考えていることを読み取り、自分の意見と比較することで考えを深める。	P18～ P26			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や語句の理解。</li> <li>場面の設定や登場人物の心情を読み取る。</li> </ul>			
	3	小説『ナイン』①	場面の設定の仕方を通して、登場人物の心情を考える。	P40～ P55			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩の分類について知る。</li> <li>詩の内容理解。</li> <li>表現技法を知る。</li> </ul>			
	4	小説『ナイン』②	情景描写の効果を考えながら読み、それぞれが意味することを理解する。	P40～ P55			後 半	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や語句の理解。</li> <li>登場人物の心情や変化を読み取る。</li> <li>本文の流れを知る。</li> </ul>	6/8
	5	『詩の構成と表現』 詩『道程』	詩の種類を知り、具体的な作品を通して内容を味わう。	P76～ P77				5		<ul style="list-style-type: none"> <li>古文単語の理解。</li> <li>本文中の語句の示す内容を知る。</li> <li>主語や目的語を抜き出す。</li> </ul>	
	6	詩『小景異情』 詩『永訣の朝』	詩に表された作者の心情を読み取り、様々な表現方法について考える。	P78～ P83				6		<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や語句の理解。</li> <li>筆者の考えを読み取る。</li> <li>本文の流れを知る。</li> </ul>	
	7	小説『山月記』①	登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。	P90～ P112							
	8	小説『山月記』②	主人公の心情の変化を読み取り、結論に至るまでの流れを理解する。	P90～ P112							
	9	伝奇物語『竹取物語』 「かぐや姫の昇天」①	古文の文章に触れ、文法や語句、それらの意味を理解する。	P114～ P115、 P118							
	10	伝奇物語『竹取物語』 「かぐや姫の昇天」②	かぐや姫の心情とその変化を読み取る。作品のジャンルを理解する。	P114～ P115、 P118							
	11	随想『飛ぶことを知っている魂』①	具体例をもとに、筆者のメッセージを読み取る。	P218～ P222							
	12	随想『飛ぶことを知っている魂』②	本文の流れや要点を知り、比喩的な表現を読み取る。	P218～ P222							

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 文学国語 b ]

[ 2単位 ]

[ 使用教科書 : 『新編 文学国語』 ]

[ 担当者 : 花田 夏生 ]

学期	授業回数	項 目	教 科 書			レポ ー ト					
			内 容	ページ	副読本 ページ	前後	回目	課 題 内 容	締切日		
後 期	1	小説『おぼろ月』①	登場人物の考え方や生き方について、時代背景を踏まえて考える。	P244～ P257		前 半	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字や語句の理解。</li> <li>・話の流れを知る。</li> <li>・登場人物の考えを読み取る。</li> </ul>	11/7		
	2	小説『おぼろ月』②	直腸的な表現に注目しながら作品を読み味わう。	P244～ P257			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典文法や語句の理解。</li> <li>・場面の設定や登場人物の心情を読み取る。</li> </ul>			
	3	物語『源氏物語』 「桐壺」「若紫」①	古文の文章に触れ、文法や語句、それらの意味を理解する。	P262～ P266			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌の種類を知る。</li> <li>・作品に込められた想いを読み取る。</li> </ul>			
	4	物語『源氏物語』 「桐壺」「若紫」②	登場人物の設定や描写の仕方をとらえ、読み深める。	P262～ P266			後 半	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字や語句の理解。</li> <li>・登場人物の心情や変化を読み取る。</li> <li>・本文の流れを知る。</li> </ul>	12/5
	5	「短歌・俳句の構成と表現」	短歌・俳句の構成や表現の技法について学ぶ。それぞれの語句の持つ意味を知る。	P282～ P283				5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の基本の復習。</li> <li>・登場人物の心情を読み取る。</li> </ul>	
	6	「短歌」「俳句」	形式や表現に注意して歌の内容を理解する。	P284～ P289				6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字や語句の理解。</li> <li>・登場人物の心情や変化を読み取る。</li> <li>・自分の考えを持つ。</li> </ul>	
	7	小説『山椒魚』①	登場する生き物たちの性格や心理を本文から読み取る。	P296～ P309							
	8	小説『山椒魚』②	話の流れやそこに込められた寓意を読み味わう。	P296～ P309							
	9	歴史書『史記』 「四面楚歌」①	漢文の基本的な読み方を理解する。文中の単語の意味を知る。	P332～ P334							
	10	歴史書『史記』 「四面楚歌」②	漢文の表現に着目し、登場人物の心情を読み取る。	P332～ P334							
	11	小説『こころ』①	登場人物の言動に注目し、場面ごとの時間と心情の移り変わりを読み取る。	P336～ P363							
	12	小説『こころ』②	登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。	P336～ P363							





# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科目名 : 国語総合演習 〕    〔 2単位 〕    〔 使用教科書 : 新編国語総合/古典文法ベーシックノート 〕    〔 担当者 : 豆田 さくら 〕

学期	授業回数	項 目	教 科 書		副読本	レポ ー ト			
			内 容	ページ		ページ	前後	回目	課 題 内 容
前期	1	『古典文法の基礎知識①』	古典の言葉と仮名遣いについて、基礎的知識を学ぶ。		P4～ P11	前半	1	『古典文法の基礎知識①』	5/9
	2	『古典を読むために③』	動詞の活用について学ぶ。	P202～ P203	P12～ P18				
	3	『古典を読むために③』	古文を読み進めながら、活用形に触れる。	P202～ P203	P12～ P18		2	『古典を読むために③』	
	4	『助詞①』	助詞の基礎知識を学ぶ。		P43～ P51				
	6	『敬語①』	古文における敬語の使い方について、学ぶ。		P54～ P60	後半	3	『助詞①』	6/8
	その後の授業は、①～⑥回目の授業の復習や、内容を深める授業内容とする。						4	『敬語①』	

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科目名 : 国語総合演習 〕    〔 2単位 〕    〔 使用教科書 : 新編国語総合/古典文法ベーシックノート 〕    〔 担当者 : 豆田 さくら 〕

学期	授業回数	項 目	教 科 書		副読本	レポ ー ト					
			内 容	ページ		ページ	前後	回目	課 題 内 容	締切日	
前期	1	『古典文法の基礎知識①』	古典の言葉と仮名遣いについて、基礎的知識を学ぶ。		P4～ P11	前半	1	『古典文法の基礎知識①』	5/9		
	2	『古典を読むために③』	動詞の活用について学ぶ。	P202～ P203	P12～ P18						
	3	『古典を読むために③』	古文を読み進めながら、活用形に触れる。	P202～ P203	P12～ P18			2		『古典を読むために③』	
	4	『助詞①』	助詞の基礎知識を学ぶ。		P43～ P51			後半		3	『助詞①』
	5	『敬語①』	古文における敬語の使い方について、学ぶ。		P54～ P60						4
	その後の授業は、①～⑤回目の授業の復習や、内容を深める授業内容とする。										

# 2023年度 学習指導計画表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 国語総合演習 ] [ 2単位 ] [ 使用教科書 : 新編国語総合/古典文法ベーシック ] [ 担当者 : 大西 歩 ]

学期	授業回数	項目	教科書		副読本	レポート			
			内容	ページ	ページ	前後	回目	課題内容	締切日
後期	1	『古典文法の基礎知識』	古文を学習するにあたって必要な基礎知識を身につける。	P190～ P195	P4～ P11	前半	1	『古典文法の基礎知識』	11/7
	2	『古典文法の基礎知識』	古文を学習するにあたって必要な基礎知識・動詞の活用について学ぶ。	P190～ P195	P12～ P19				
	3	『動詞・形容詞・形容動詞』	動詞・形容詞。形容動詞の活用について学ぶ。		P12～ P25				
	4	『助動詞・助詞』	助動詞・助詞の基礎知識を身につけ、使い方について学ぶ。		P26～ P56		2	『動詞①』	
	6	『助動詞・助詞』	助動詞・助詞の基礎知識を身につけ、使い方について学ぶ。		P26～ P56				
	7	『敬語』	古文で使われている敬語について学び、古典を読みすすめていく。		P50～ P63	後半	3	『助動詞①』	
	8	復習	授業の復習						
	9	復習	授業の復習						
	10	復習	授業の復習				5	『敬語』	
	12								

# 2023年度 学習指導計画表

長尾谷高等学校

〔 科目名 : 国語総合 〕    〔 2単位 〕    〔 使用教科書 : 新編国語総合改訂版・新編国語総合学習課題集 〕    〔 担当者 : 松尾恵子 〕

学期	授業回数	項目	教科書		副読本	レポート				
			内容	ページ		ページ	前後	回目	課題内容	締切日
前期	1	鷺沢萌「指」	登場人物の心情を、繊細な描写から読み取る。	20～28	8～10	前半	1	鷺沢 萌「指」	5/9	
	2	高村 光太郎「道程」 茨木 のりこ「六月」	近代詩の基本的な知識事項や修辞法について学び、詩的感覚を養う。	38～39 42～43	15、17			2		高村 光太郎「道程」 茨木 のりこ「六月」
	3	古文の基礎知識	古文読解における基本的な知識を学ぶ。	194～ 195 198～ 199 202～ 203	70～71					3
	4	「鳩と蟻のこと」(『伊曾保物語』)	古文の文体に慣れる。	192～ 193	72～73	4	清水由美「言葉の海のオノマトペ」			
	5	清水由美「言葉の海のオノマトペ」	身近なオノマトペについて学ぶ。 言語の恣意性について学ぶ。	49～55	21～23		5	「三文にて歯二つ」(『沙石集』)		
	6	「三文にて歯二つ」(『沙石集』)	読解を通して古文に親しむ。	204～ 205	78～79	6		漢文の基礎知識 「矛盾」		
	7	漢文の基礎知識	漢文の基本的な返り点、再読文字、書き下し文などの下地をしっかりと養う。	230～ 239	100～ 104		後半			
	8	「矛盾」	短い漢文を読み解くことで、漢文に親しむ。	242～ 243	106					
その後の授業は、1～8回の授業の復習や内容を深める授業内容とする。										

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 国語総合 ]

[ 2単位 ]

[ 使用教科書 : 新編 国語総合 ]

[ 担当者 : 黒田優香 ]

学期	授業回数	項 目	教 科 書		副読本	レポ ー ト			
			内 容	ページ		ページ	前後	回目	課 題 内 容
後期	1	新しい出会い 「身近な動植物の名前を覚えよう」	「認知した物と親しくなるための強いチャンネルを作るには、名前を覚えることだ。そのことによって、私たちはその物との一体感の中で、一つの世界を構築するのである。」とはどういうことかを考える。	13～19	5～7	前半	1	身近な動植物の名を覚えよう	11/7
	2	生活の中の表現 「日本語のこころ」	日本人独特の言い方や外国人の捉え方の違いなどを考え理解する。	44～48	18～20		2	日本語のこころ	
	3	人間の風景 「数の不思議に魅せられて」	『博士が愛した数式』の中で、「友愛数」「完全数」が果たしている役割について、それぞれまとめる。	63～69	27～29		3	数の不思議に魅せられて	
	4	小説を読む(三) 「よだかの星」	「よだか」は、どのような鳥として描かれているか、整理する。	114～124	52～55	後半	4	「よだかの星」	12/5
	5	随筆を読む 『枕草子』「春は、あけぼの」	「言ふべきにみならず。」は「言いようもない。」、「言ふべきにもみならず。」は「言うまでもない。」の意味である。それぞれ助動詞「べき」の文法的意味を考える。	212～213	84～85		5	『枕草子』「春は、あけぼの」 『方丈記』「安元の大火」	
	6	随筆を読む 『方丈記』「安元の大火」	本文中から、特に写実的な描写の優れている部分を指摘し、作者の観察眼について考える。	218～219	94～95		6	「漢文の学習」「訓読に親しむ」	
	7	漢文入門 「漢文の学習」「訓読に親しむ」	訓読の基礎を理解し、漢文をスムーズに書き下せるようにする。	230～239	100～104				
	8								
	9								

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 国語表現 a ] [ 2単位 ] [ 使用教科書 : 高等学校 改訂版 国語表現 第一学習社 ] [ 担当者 : 吉田千夏 ]

学期	授業回数	項 目	教 科 書		副読本	レポ ー ト			
			内 容	ページ		ページ	前後	回目	課 題 内 容
前期	1 2	表現の基礎 ・文章の書き方 ・わかりやすい表現	「主題」と「構成」を意識した、わかりやすい文章の書き方を学ぶ。 読み手に誤解されることのない正しい文章を学ぶ。	12～21	12～23	前半	1	表現の基礎 ・文章の書き方 ・わかりやすい表現	5/9
	3 4	表現の基礎 ・わかりやすい表現 ・表現の工夫 ・描写の方法	主述の関係や修飾の関係、言葉の順序や一文の長さ、正しい読点の使い方を学び、わかりやすく明確な表現について、考える。 また、表現技法を使い、豊かな表現を理解する。	18～29	22～31		2	表現の基礎 ・わかりやすい表現 ・表現の工夫 ・描写の方法	
	5 6	表現の基礎 ・「言葉にする」ことから始めよう ・手紙を書く	自分の考えを整理して、言葉にする大切さを知る。 標準的な手紙の形式を学び、人に読んでもらう文章について考える。	30～45	34～37		3	表現の基礎 ・「言葉にする」ことから始めよう ・手紙を書く	
	7 8	表現の実践 ・紹介文・宣伝文を書く	紹介文や宣伝文を書く上で大切なポイントを学ぶ。また、普段目にする紹介文・宣伝文を注目したとき、何を目的とし、対象は誰かなど、構成について具体的に考える。	52～58	38～41	後半	4	表現の実践 ・紹介文・宣伝文を書く	6/8
	9 10	表現の実践 ・記録文を書く	記録文を書く上での留意点について学び、優れた記録文の特徴を捉える。	60～63	42～45		5	表現の実践 ・記録文を書く	
	11 12	表現の実践 ・レポートを書く ・敬体・常体の使い分け	レポートを書くとき、発表するときの留意点を学ぶ。また、表から情報を読み取る方法を知る。 文体の使い分けを考える。	64～70	48～51 98		6	表現の実践 ・レポートを書く ・敬体・常体の使い分け	

# 2023年度 学習指導計画表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 国語表現 a ] [ 2単位 ] [ 使用教科書 : 高等学校 改訂版 国語表現 第一学習社 ] [ 担当者 : 吉田千夏 ]

学期	授業回数	項目	教科書		副読本	レポート			
			内容	ページ		ページ	前後	回目	課題内容
後期	1 2	表現の実践 ・考えを発表する ・話し合いをする	自分の意見を簡潔にまとめる方法を学ぶ。また、その意見を明確に説明し、読み手・聞き手に伝える能力を身に付ける。	72～83	52～58	前半	1	表現の実践 ・考えを発表する ・話し合いをする	11/7
	3 4	表現の実践 ・ディベートをする	ディベートの実践方法を学び、論理的に考え、話し、聞く力を鍛える。	84～89	60～61		2	表現の実践 ・ディベートをする	
	5 6	表現の実践 ・課題作文を書く	場面にあった作文方法を学び、自分をうまくアピールする力を育てる。	94～ 121	62～65		3	表現の実践 ・課題作文を書く	
	7 8	表現の実践 ・小論文を書く	小論文の正しい書き方を学び、問題を分析し、根拠に基づいて明確に主張する力を養う。	102～ 123	66～81	後半	4	表現の実践 ・小論文を書く	12/5
	9 10	表現の探求 ・日本語の特徴 ・敬語の分類	英語と日本語の違いから、日本語の特徴について学ぶ。敬語についての知識を学び、適切に使用できる能力を身につける。	124～ 153	108～ 111		5	表現の探求 ・日本語の特徴 ・敬語の分類	
	11 12	表現の探求 ・表現の探求	日本語の文章表現を学ぶ。表現技法の使い方について考え、文章の論点を理解する。	154～ 177	111～ 112		6	表現の探求 ・表現の探求	

# 2023年度 学習指導計画表

長尾谷高等学校

〔科目名：現代文 Ba〕

〔2単位〕

〔使用教科書：新編現代文 B 改訂版／新編現代文 B 改訂版 学習課題ノート〕

〔担当者：向井彩夏〕

学期	授業回数	項目	教科書		副読本	レポート				
			内容	ページ	ページ	前後	回目	課題内容	締切日	
前期	1	又吉直樹『祖母が笑うということ』	筆者にとって祖母はどのような存在なのか読み取る。	118～122	50～51	前半	1	又吉直樹『祖母が笑うということ』 ・本文の内容理解	5/9	
	2	藤原智美『「検索」時代における読書』	筆者の主張を正しく読み取る。 読書のあり方がどのように変化しているのか考える。	140～146	60～63			2		藤原智美『「検索」時代における読書』 ・本文の内容理解
	3	島崎藤村『小諸なる古城のほとり』 吉田加南子『コスモス』	詩の表現について学習する。 それぞれの詩にどのような思いが込められているのかを読み取る。	64～65	26～27					3
	4	藤沢周平『おぼろ月』	時代背景に注意しながら、登場人物の心情を発言や行動から読み取る。	183～194	76～79	4	藤沢周平『おぼろ月』 ・本文の内容理解			
	5	俵万智『殺し文句は永遠に——恋する伊勢物語』	『伊勢物語』の第六段について書かれた文章を通して、現代と共通する人々の心情を理解する。	200～205	82～83		5	俵万智『殺し文句は永遠に——恋する伊勢物語』 ・本文の内容理解		
	6	山田昌弘『家族化するペット』	文章の構成や社会の変動によるペットの存在意義の変化に注意しながら、筆者の考えを読み取る。	287～294	116～119			6		山田昌弘『家族化するペット』 ・本文の内容理解
その後の授業は、1～6回の授業の復習や理解を深める授業内容とする。						6				

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[科目名：現代文 Bb]

[2単位]

[使用教科書：新編現代文 B 改訂版／新編現代文 B 改訂版 学習課題ノート]

[担当者：向井彩夏]

学期	授業回数	項 目	教 科 書		副読本	レポ ー ト				
			内 容	ペ ー ジ	ペ ー ジ	前後	回目	課 題 内 容	締切日	
後期	1	吉本ばなな『ざしきわらし』	登場人物の心情を捉えながら、おばあちゃんはどのような存在であるか読み取る。	20～28	12～15	前半	1	吉本ばなな『ざしきわらし』 ・本文の内容理解	11/7	
	2	北原保雄『言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの』	言葉についての筆者の意見を正しく読み取る。	46～52	20～23			2		北原保雄『言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの』 ・本文の内容理解
	3	山極寿一『ゴリラの思いやり』	ゴリラとチンパンジーの違いに注目しながら、筆者の意見を読み取る。	74～79	34～37					3
	4	林望『夢を建てる人々』	筆者の体験を読み取り、職人たちがどのような思いで塔の建設に臨んでいるか考える。	162～168	68～71	後半	4	林望『夢を建てる人々』 ・本文の内容理解	12/5	
	5	短歌・俳句	短歌・俳句の決まりについて知り、さまざまな作品を鑑賞することでそこに込められた思いを読み取る。	214～217	88～95			5		短歌・俳句 ・作品の内容理解
	6	夏目漱石『こころ』	登場人物の置かれた状況やその心情を、情景描写や心理描写から読み取る。	250～278	108～111					6
その後の授業は、1～6回の授業の復習や理解を深める授業内容とする。										

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 古典 Ba ]

[ 2単位 ]

[ 使用教科書 : 新編古典 B 東京書籍 ]

[ 担当者 : 阿久根 真帆 ]

学期	授業回数	項 目	教 科 書			レポ ー ト							
			内 容	ページ	ページ	副読本	前後	回目	課 題 内 容	締切日			
前期	1	『徒然草』 「久しく隔たりて会ひたる人の」	「人の話し方」が、三つの内容でとらえられていることを理解する。			前半	1	『徒然草』 「久しく隔たりて会ひたる人の」	5/9				
	2	『更級日記』 「門出」	作者の物語への憧れについて理解する。					2		『更級日記』 「門出」			
	3	『文一二編』 「雑説」	訓点や仮名遣いに注意しつつ、正確に訓読する。							3	「雑説」		
	4	『伊勢物語』 「初冠」	本文の内容を的確に読み取り、登場人物の心情を理解する。								4	『伊勢物語』 「初冠」	
	5	『袋草紙』 「能因と節心」	登場人物のものの見方、感じ方を理解する。	112.113	65.66							5	『袋草紙』 「能因と節心」
	6	『十八史略』 「水魚之交」	劉備と諸葛亮の関係性を理解する。	204～ 206	106. 107								6
	7	復習	7回目以降は1～6回目の復習になります。内容が被らないように注意してください。			後半			6/8				

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 古典 Bb ]

[ 2単位 ]

[ 使用教科書 : 新編古典 B 東京書籍 ]

[ 担当者 : 阿久根 真帆 ]

学期	授業回数	項 目	教 科 書		レポ ー ト				
			内 容	ページ	副読本 ページ	前後	回目	課 題 内 容	締切日
後 期	1	『宇治拾遺物語』 「袴垂、保昌にあふこと」	袴垂と保昌の関係性を学ぶ。	14～16	10.11	前 半	1	『宇治拾遺物語』 「袴垂、保昌にあふこと」	11/7
	2	『奥の細道』 「漂泊の思ひ」 「旅立ち」	旅の動機、人生観、旅の準備をする心情について理解する。旅に対する芭蕉の考えを捉える。	70～73	40.41		2	『奥の細道』 「漂泊の思ひ」 「旅立ち」	
	3	『寓話』 「杞憂」	寓話の意味について理解を深める。	201.202	105		3	『寓話』 「杞憂」	
	4	『枕草子』 「野分のまたの日こそ」	平安時代における風流心を理解する。	81～83	45.46				
	5	『世間胸算用』 「蛸売りの八助」	浮世草紙から町人の暮らしぶりを知る。	134～ 136	74.75				
	6	小話 「鼓腹撃壤」	人物の生き方や考え方に触れ、自分を振り返る。	214～ 216	114. 115				
	7 ( )	復習	7回目以降は1～6回目の復習になります。 内容が被らないように注意してください。			後 半	4	『枕草子』 「野分のまたの日こそ」	12/5
					5		『世間胸算用』 「蛸売りの八助」		
					6		小話 「鼓腹撃壤」		

# 2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[ 科目名 : 現代文特講 ] [ 2単位 ] [ 使用教科書 : 指導者オリジナルプリント集 ]

[ 担当者 : 黒田優香 ]

学期	授業回数	項 目	教 科 書		副読本	レポ ー ト				
			内 容			ページ	前後	回目	課 題 内 容	締切日
前期	1・2	大意をつかむ	上野千鶴子『うわの空』 梅原猛『思うままに』			前半	1	梅原猛『思うままに』		5/9
	3・4	筆者の意見を理解する	山本夏彦『夜は眠るためのものである』 大岡信『青き麦萌ゆ』					2	河合雅雄『子どもと自然』	
	5・6	段落を分ける	河合雅雄『子どもと自然』 佐藤忠雄『忠臣蔵』							
	7・8	論理的な文章と叙情的な文章	中村桂子『日常語で科学が語れない』 日野啓三『此岸の家』							
	9・10	指示語に注目する	江藤淳『海舟余波』 内山節『時間についての十二章』							
	11・12	文脈を考え、空所を埋める	高橋義孝『蝶ネクタイとオムレツ』 亀井勝一郎『人生論集』			後半	3	内山節『時間についての十二章』		6/8
	13・14	難しい表現を通り過ぎない	「水尾比呂志の文章」 木村尚三郎『新しい対話の時代』					4	高橋義孝『蝶ネクタイとオムレツ』	
	15・16	比喩の内容をつかむ	今西錦司『山』 小林秀雄『私の人生観』							
	17～20	自分の言葉で説明する	中井正一『一握の大理石の砂』 岸田秀『不惑の雑考』							

